

## 岡垣町における PFOS 及び PFOA に対する対応について（その4）

### 1. 航空自衛隊芦屋基地、九州防衛局への要望活動について

2月6日に航空自衛隊芦屋基地、2月7日に九州防衛局に対し、芦屋基地内の地下水の流動調査などによる、PFOS 及び PFOA 検出の原因究明や PFOS 及び PFOA を除去する施設の設置及び管理、新たな水源井戸の確保等の対策に必要となる事業費補助について、議会と連名で要望書の提出を行いました。

#### （1）航空自衛隊芦屋基地

○PFOS 及び PFOA については、これまで国内で様々な用途で使われてきている。現時点で検出と基地との因果関係は明快に答えられない。

○今回の要望については九州防衛局と密に情報共有、連携をとりながら、防衛省（本省）に報告する。

#### （2）九州防衛局

○PFOS 及び PFOA については、日本全国自衛隊基地のみならず全国で確認されており、特に地下水の因果関係については、明確には申し上げられない。

○要望内容については防衛省（本省）とも議論したい。

### 2. 糠塚水源におけるモニタリング調査について（中間報告 その1）

#### （1）取水量について

○停止前（1号から3号の合計、1、2号は24時間、3号は12時間運転）

日あたり平均取水量 1,175m<sup>3</sup>/日

時間あたり取水量 49m<sup>3</sup>/h

○停止後（1号と2号の合計、3号は1日1時間の維持管理運転を実施）

日あたり平均取水量 1,000m<sup>3</sup>/日

時間あたり取水量 41m<sup>3</sup>/h

※3号井戸の停止による取水量不足については、糠塚水源の取水量が想定したほど減少しなかった事と総配水量が減少している事などにより、他の水源の取水量の調整と北九州市からの受水量の微増により対応している。

#### （2）水質検査の結果について

採水日時：令和7年2月10日（月）午前9時ごろ

## 糠塚水源及び水道水でのPFOS及びPF0Aの水質検査結果

単位 ng/L

採水日	1号井戸 (旧)	1号井戸 (新)	2号井戸	3号井戸	水道水	備考	
R2. 11	11		47	360			
R3. 2					45	検査結果確認後、下旬より6か月間3号井戸の取水の停止	
R3. 9						運転時間を18時間に短縮して再開	
R3. 10					20		
R4. 10					23		
R5. 4		nd	21	320			
R5. 10		12	27	390	33		検査結果確認後、下旬より3号の運転時間を12時間に短縮 取水量 約235m3/日
R5. 11					22		検査結果確認後、下旬より3号の運転時間を9時間に短縮 取水量 約175m3/日
R5. 12					13		
R6. 2					13		
R6. 3					16		
R6. 4		nd	130	200	23		水道水はR6. 3. 29に採水
R6. 5					14		
R6. 6					17		
R6. 7					14	取水量が不足するため、下旬より3号の運転時間を12時間に延長 取水量 約235m3/日	
R6. 8					16		
R6. 9					17		
R6. 10					17		
R6. 11		9	80	267	15		
R6. 12					22		
R7. 1		10	104	307	19		採水日 (R7. 1. 6) 3号井戸の取水停止 (R7. 1. 6)
R7. 2		19	194	取水停止 (※)	23		

暫定目標値 50ng/L以下

nd : 定量下限値未満

(※ 1日1時間の維持管理運転の実施 揚水量 : 約20m3/日 参考値 : 865ng/L)

※3号井戸については取水ポンプ及び電気設備の維持管理を目的として、1日1時間の運転を実施しているが、今回の水質検査の結果を受け、2月28日から維持管理運転の時間を1日30分に短縮している。

### 3. 国の動向について

環境省の中央環境審議会水環境・土壌農薬部会の水道水質・衛生管理小委員会において、水道水における水質基準等の見直しについて議論が進められている。  
(以下 委員会資料抜粋)

#### (1) 基準値の検討

- 現行の水質管理目標設定項目を水質基準項目に見直すことが適当である。
- PFOS及びPFOAを合算して評価することが適当である。
- 現在の暫定目標値の考え方と同様、安全側を見て合算値として50ng/Lとすることが適当である。

#### (2) 検査回数

- 水質基準項目の有機化合物はおおむね3箇月に1回以上の頻度で規定されていることからPFOS及びPFOAもおおむね3箇月に1回以上を基本とすることが適当である。

#### (3) 施行時期について

- 令和8年4月1日とすることが適当である。

以上の内容で現在、環境省のホームページにてパブリックコメントを収集中。

### 4. 福岡県の動向

福岡県は、令和6年12月16日に芦屋基地周辺水域、令和7年1月14日に芦屋海岸周辺水域の公共水域の水質検査を実施、その結果を令和7年1月30日に公表しています。

岡垣町に関連する箇所 PFOS と PFOA の合計値としては、矢矧川の矢矧橋において8ng/L、矢矧川のはごろも橋において9ng/Lが検出されておりますが、いずれも暫定目標値を下回っています。

(別紙 福岡県公表資料参照)

# 要 望 書

航空自衛隊芦屋基地周辺の PFOS 及び PFOA 対策について

岡垣町・岡垣町議会  
令和 7 年 2 月 6 日～7 日

令和7年2月6日

令和7年2月7日

航空自衛隊芦屋基地

司令 兼田 大助 様

九州防衛局

局長 江原 康雄 様

岡垣町長 門司 晋

岡垣町議会議長 森山 浩二

### 航空自衛隊芦屋基地周辺のPFOS及びPFOA対策について

平素から岡垣町のまちづくりについて、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、列島各地で発生する大規模な地震や豪雨災害等に伴う災害派遣任務、国際情勢が緊張感を増す中での国防の任務など、日々ご尽力されていることに対して改めて敬意を表します。

さて、水道におけるPFOS及びPFOAに関する調査の結果がとりまとめられ、令和6年12月24日に国設専用水道における水質検査の結果が国土交通省及び環境省から公表され、航空自衛隊芦屋基地専用水道の水道水において、PFOS及びPFOAの暫定目標値を超過していることが周知されました。

岡垣町においても、水道水の水源井戸について令和2年11月から水質検査を行ってきており、芦屋基地内及び基地に近接する糠塚水源の一部の井戸で、暫定目標値を超過するPFOS及びPFOAが継続して検出されています。現在は、最も検出量の多い井戸からの取水を停止し、糠塚水源の他の井戸との相関関係について調査しております。また、他の水源との取水量を調整しながら水道水の安全確保にも努めています。

当町の地下水は、先人から受け継いできた資源であり、住民生活に欠くことのできない貴重な財産です。地下水の水質を良好に維持し、次世代に引き継いでいくことは、議会、行政、そして町民の切なる願いであります。

これらの状況を踏まえ、岡垣町では町民に水質検査の結果や様々な対応状況について公表を行いながら、議会と行政で連携し町を挙げて対策に取り組んでいるところです。

以上の状況をご勘案いただき、下記の事項について強く要望いたします。

#### 記

1. 芦屋基地内の地下水の流動調査などにより、PFOS及びPFOA検出の原因を究明し、周辺の自治体に報告を行うこと。特に、当町の糠塚水源に関連すると思われる区域については、早急な原因究明を行うこと。

なお、当該区域の調査に関するご見解（スケジュール、内容等）については、令和7年3月上旬を目途に文書にてご回答いただきますようお願いいたします。

2. PFOS及びPFOAを除去する施設の設置及び管理、新たな水源井戸の確保など、対策に必要な事業費については、既存の補助枠の拡大や別枠による補助など、補助総額の増額をすること。

環境保全課  
 直通：092-643-3359  
 内線：3432、3433  
 担当：定石、寺本

## 芦屋基地専用水道のPFOS・PFOA 暫定目標値超過に対する 基地周辺水域の水質調査結果について

航空自衛隊芦屋基地内の飲用井戸において、有機フッ素化合物のPFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)が暫定目標値を超過したことを受け、基地周辺の河川及び水路8地点、並びに海域6地点においてPFOS及びPFOAの水質調査を実施したところ、水路1地点において暫定指針値(50ng/L以下)を超過しました。

なお、当該水路近傍の海域(芦屋海岸)では、暫定指針値に適合していることを確認しています。

### 1 水質調査結果(基地周辺水域、令和6年12月16日採水)

番号	地点名称	河川名	PFOS+PFOA [ng/L]
①-1	なみかけ大橋	遠賀川	5未満
①-2	芦屋橋	遠賀川	5未満
①-3	西祇園橋	西川	5未満
①-4	新西川橋	西川	5未満
①-5	基地北側水路	—	210
①-6	浜口川	浜口川	19
①-7	はごろも橋	矢矧川	9
①-8	矢矧橋	矢矧川	8

### 2 水質調査結果(芦屋海岸周辺水域、令和7年1月14日採水)

番号	地点詳細	PFOS+PFOA [ng/L]
①-5	基地北側水路	120
②-1	海岸から沖合約5m、約50m間隔 (②-3は河口から沖合方向)	5
②-2		5未満
②-3		5未満
②-4		5未満
②-5		5未満
②-6	芦屋海岸北端	5未満

### 3 今後の対応

- ・基地周辺地区における地下水調査の結果は2月下旬頃判明予定です。
- ・周辺地区における地下水調査の結果も踏まえ、基地周辺自治体とも協議の上、対応方針を検討します。

1 水質調査結果（基地周辺水域、令和6年12月16日採水）



地理院地図Vectorを加工し作成

2 水質調査結果（芦屋海岸周辺水域、令和7年1月14日採水）

